

企業における認知症バリアフリーについて

認知症は誰もがなりうる身近なものです。団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年には、山形県の高齢化率は40%を超え、認知症の人はおよそ5.5万人まで増加することが見込まれています。また、高齢者だけではなく、65歳未満の方が若年性認知症を発症した場合、現役世代で家計を支えていることも多く、経済的な問題が生じるなど人生にも大きな影響を与える場合があります。

企業において、お客様が認知症である場合だけではなく、従業員やその家族が認知症になることも考えられます。認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる共生社会を実現するには、認知症について正しく理解することが大切です。認知症について正しく理解することで、認知症のお客様のニーズや困りごとへきめ細かく対応することができますし、従業員やその家族が認知症になった場合に、症状や本人の意思を考慮した配属や周囲のちょっとした気遣いにより、就労継続に繋げることができます。

認知症について理解する第一歩として、認知症サポーター養成講座があります。認知症サポーター養成講座は市町村が事務局となって開催しています。また、山形県では今年度、12月6日（金）に企業向けの研修会を開催するほか、講師を派遣しての企業向け勉強会も実施いたします。興味がありましたら一度県高齢者支援課までお問い合わせください。



さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

～出張交流会～ほっこりかふえ(鶴岡市)にて「臨床アートを皆で楽しもう！」を開催しました

10月1日（火）のさくらんぼカフェ出張交流会で、鶴岡市「ほっこりかふえ」にお伺いしました。会場は総合保健福祉センターにこゝるです。初めに講師の鈴木恵先生から『臨床美術は独自のアートプログラムに沿って楽しみながら創作活動を行うことで脳の活性化、認知症の症状改善、働く人のストレス緩和等の効果が期待される芸術療法（アートセラピー）のひとつです』との説明がありました。



今回の製作は「カミザラエザラ」。テーブルに準備された紙皿をしばらく眺めてイメージを膨らませる方、すぐに絵の具を選び描き始める方など思い思いに取り組んでいました。先生からのアドバイスは「上手、下手はないので好きなように、思ったように描いて下さい」とのことでした。

また、制作中に個々の作品への前向きなコメントも話されました。出来上がった作品を一堂に並べ、全員で写真を撮ってからカフェタイムとなりました。

<参加者から>

「初めての臨床アートで何を描くのだろうと思ったが、描きたいようがいいと言われ自分の好きなように描けた」「創作活動をするので無くなった」「久しぶりに絵筆を持った。並んだ作品を見て皆さんそれぞれの表現力に感激した」などの声が聞かれました。

(草苺)



「オレンジの灯」をわが町にも広めよう

去る10月13日に、私達5名の認知症キャラバンメイトが実行委員会を担い、三川町の秋まつりイベントとして「オレンジ・ランプ上映会」を行いました。

昨年、県内での上映運動が始まり、町から実行委員会を依頼された時は不安もありましたが、「この映画の上映実現が、私達のめざす認知症にやさしい町づくりへの近道ではないか。10年間のキャラバンメイトとしての活動の集大成ではないか。」と思い、取り組むことにしました。

試写会には町内の各組織団体や医療・介護施設だけでなく、三川町に関わる全ての方々から認知症に関心を持ってもらおうと、町内にある企業や金融機関、商工施設などにも案内しました。そして、協力していただけるところには地域包括支援センターと手分けをして、ひとつひとつの事業所に足を運び、上映の趣旨と想いを説明し、前売り券の販売協力への声かけ運動をしました。

町内の企業を回ってみると、若い方々には認知症について、まだなじみがないこともあり、反応も様々で「とにかく見てほしい」と願うばかりでした。

当日を迎え、私達実行委員の心配をよそに、3回の

にこにこメイト 土田市子

上映で474人と大勢の方に来場いただくことができました。なかには中学生や小学生の親子連れの姿もありました。

鑑賞いただいた方のアンケートには、映画のすばらしさはもちろんのこと、「認知症になったら人生終わる訳ではない」「認知症は自分の世界が変わってしまうけど、周りのサポートで今までと同じ生活が送れることや認知症へのかかわり方を知ることのできた。」など、認知症への理解が深まった感想も寄せられました。

コロナ以降、町では大きなイベントも少なくなっていた昨今、あんなに大勢の町民でうめつくされた光景は本当に感動的で、事務局とともにこれまでの活動が報われた気持ちになり、今回の経験を今後のメイト活動への大きな励みとして、町の認知症施策の一助になればと思います。



インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

～令和6年度認知症カフェ運営者情報交換会全体会のお知らせ～

令和7年1月16日（木）13時30分より完全オンラインで開催します。
 内容（予定）・令和6年度県内4地区における情報交換会からの情報提供
 ・県内各地における住民相互の助け合い・見守り活動等の情報提供（チームオレンジとしての活動に限定しない内容）
 今後、さくらんぼカフェより皆様方に情報提供の依頼でご連絡を差し上げますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

～オレンジランプ上映会のお知らせ～

舟形町 令和6年11月30日（土） 舟形町中央公民館
 尾花沢市 令和6年12月1日（日） 尾花沢市文化体育施設サルート
 新庄市 令和7年1月18日（土） 新庄市文化会館

～アルツハイマー月間の県内民放各社における認知症関連情報～

- 明日へのチカラ（TUY）
（丹野智文さんの講演を取り上げています）
- やまがたサンデー5（YBC）
（チームオレンジなどの活動を紹介しています）



発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター（山形市 県小白川庁舎内）

電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼12時～午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。